

令和8年度 事業計画（案）

事業計画立案に当たって

昨年度は「いずみ会創立80周年記念式典」を開催する事ができました。今年度も引き続き財政の立て直しと若年層会員へのいずみ会活動の積極的PRを進めていきます。財政立て直し策として、収入面からは会費制度の見直し、支出面からは今まで当たり前となっていた支出項目の取捨選択を通じて年度収支の改善を進めていきます。若年層の会員に対しての年代別アプローチとして、31歳（66期）以上60歳（37期）未満の会員に対しては10年の節目ごとの同期会開催を促し、附属中学卒業生を含む30歳（67期）以下の世代に対しては「20歳を祝う集い」をスタートに評議員を中心とした縦の交流を深めていきます。

第1. 評議員会

令和8年5月30日（土）YRイベントホールで定時評議員会と懇親会を開催する。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 原則として理事会は2月を除く毎月開催し、監査会は年2回（12月、4月）開催とする。
2. 評議員会開催通知の出欠に対する返信状況を把握し、返信のない評議員の更なる見直しを図る。
3. 評議員が選出されていない期に対して積極的にアプローチする。
4. 議案書はHPに掲載し、評議員への議案書は原則HP掲載の電子議案書とする。電子議案書を希望されない評議員の方には、書面の議案書を郵送する。

第3. 活性化に向けての取り組み

1. 一般会員からの情報収集、フィードバック体制の構築を図る。
2. 「20歳を祝う集い（対象77期）」の開催を支援すると同時に、中高一貫世代（68期以降）に向けてオンラインを利用したミーティングを企画して縦の交流を試みる。
3. 30歳、40歳、50歳、60歳になる節目の年を契機に同期会開催を促すと同時に、総会をミニ同期会の場として利用する事をPRする。

第4. 会報発行、広報活動の充実

1. 会報70号は令和8年10月1日の発行を目標とし、昨年同様に普通郵便で発送する。
2. ホームページはスマホ対応等若い世代にも受け入れられように継続的な改修を行う。
3. 会報、ホームページへの投稿・寄稿を会員に促進し、情報収集による内容の充実を図る。

第5. 総会及びホームカミングデー

1. 総会は、令和8年11月21日（土）に練馬区立区民・産業プラザにて開催する。
2. 以前、総会前に行っていたホームカミングデーを取りやめ、在校生との交流は、文化祭を通じて行う事とする。このため多くの会員の方に文化祭への来場を呼び掛ける。

第6. 財政管理

1. 会報発送費削減のため、会費納入実績に応じた限定発送を継続する。
2. 年会費を2000円に改定することによる財政基盤の強靱化を図る。
3. 会費制度の継続的見直しを行い、見直しに対しスムーズに対応できる会計システムの構築を進める。
4. 会費納入方式（現金振り込み以外）を検討し、若い世代が支払い易い方式の導入の可能性を探る。

第7. 会員情報の整備

1. 会員情報の精度向上に向けて、日々収集される会員情報の精緻化を促進する。
2. 高校79期生に対して、卒業生全員からの情報提供を目指す。

第8. 母校及びPTAとの連携

1. 母校の発展に寄与するため、学校からの要請に迅速に対応し教育・部活動を支援する。
2. 文化祭・卒業式・入学式等の学校行事の場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を広めていく。
3. 創立80周年記念事業として取り組んだ「グリーンプロジェクト」を継続して推進する。

第9. 人材バンク活動

1. 人材バンクへの登録を積極的に推進し、人材情報の発掘・充実を図る。
2. 母校職業講話への講師派遣に加えて、会員向けに講話等の情報交換の場を提供する。

以上